

平成 28 年度 ケンブリッジ大学 海外研修報告（速報版）

今年度 3 年目になるケンブリッジ大学海外研修について報告致します。

<参加者> 生徒 8 名（男女内訳：男 4 人 女 4 人）（学年内訳：3 学年 3 人 2 学年 5 人）
引率教員 2 名（化学部顧問 物理部顧問）

<宿泊先> ケンブリッジ大学 Trinity Hall の学寮（B・O 棟）

<主な研修場所> ケンブリッジ大学 Trinity Hall セミナールーム
Cavendish 研究所 The Department of Chemistry
国立自然史博物館 国立科学博物館

<日程>

8 月 2 日 仙台 6:36 発→羽田空港→ヒースロー空港→ケンブリッジ 20:00 着

8 月 3 日 (1) トリニティーホールセミナー室にて
ケンブリッジ大学日本人科学者達との交流
(2) キングスカレッジやトリニティーカレッジなどの見学
(3) トリニティーカレッジ運営 Punting 体験

8 月 4 日 Cavendish 研究所にて（全て英語での活動）
(1) 博物館見学 所属科学者による解説と案内 質疑応答
(2) 本校生徒 3 名による物理課題研究発表 2 題 質疑応答
(3) 実験「振り子による重力測定(精度を高める工夫)」
(4) 現地学生達との交流会

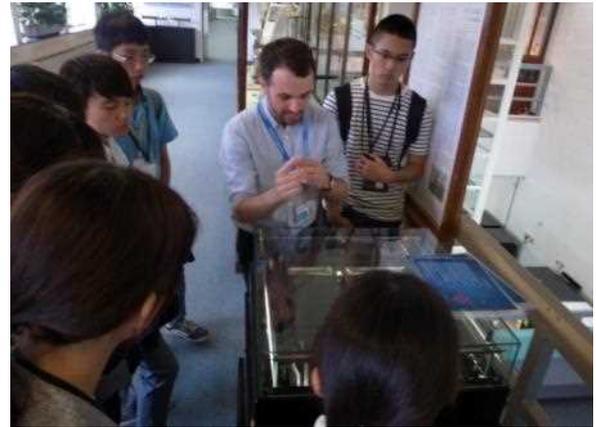
8 月 5 日 The Department of Chemistry にて（全て英語での活動）
(1) 現地化学者（Senior Lecturer）からケンブリッジ大学科学史と、彼の研究室全体に共通する研究テーマについて講義 質疑応答
(2) 現地化学者から、「電子軌道とエネルギー変化・金属イオンの色」について講義、演習、確認テスト 質疑応答
(3) 本校生徒 5 名による化学課題研究発表 2 題 質疑応答
(4) 現地若手化学者による、研究発表 3 題 質疑応答
(5) 現地若手化学者による実験室案内 質疑応答

8 月 6 日 ロンドン、国立自然史博物館 国立科学博物館 でのグループ研修
→ ヒースロー空港 ヒースロー空港 19:15 発

8 月 7 日 仙台駅 19:34 着

<感想など>

1 年目・2 年目の経験から認識できた問題点を改善すべく、今年度は学校で、また生徒個人的にも事前準備をより充実させることができた。英語スキル向上については、各生徒自身が意識を高く持ち、主に、生徒が個人的にレベルを短期間で仕上げていった。その効果はプレゼンでの完成度や積極的な英語での質問に十分反映されたと思う。化学・物理のプレゼンは、一方的な発表にならず、Cambridge 大学の科学者からの質問に十分に対応できた。Cavendish 研究所で企画された学生との交流や施設見学でも、予定時間を超過するほどに、学術的な英語コミュニケーションを経験した。（文責：仙台一高 化学 渡部知子）



Cavendish Laboratory



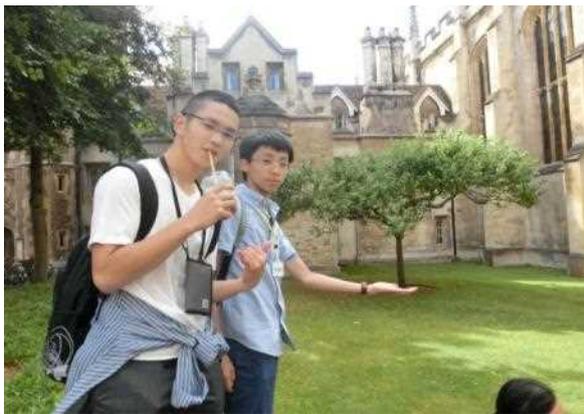
Department of Chemistry



Punting



Trinity Hall



Trinity College